

1. 学校名 対象 (学年、人数)

宮崎県 綾町立綾中学校 全校 (213名: 1年生76名 2年生71名 3年生64名)

2. 探求課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1)活動名 SDGs 達成に向けた活動の実施報告

(2)目 標 生徒会スローガン「Vision ～新たな視点で開く持続可能な世界～」の達成に向けて

(3)ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- 多様性 (多種多様な現象が起きていること)
- 公平性 (一人ひとりを大切に)
- 相互性 (関わりあっている)
- 連携性 (互いに連携・協力すること)
- 有限性 (限りがある)
- 責任制 (責任を持って)

その他 ()

②育成する資質・能力

- 批判的に考える力
- 他者と協力する力
- 未来像を予測して計画を立てる力
- つながりを尊重する態度
- 多面的・総合的に考える力
- 進んで参加する態度
- コミュニケーションを行う力

(4) 関連する SDGs と (5)探求課題・活動実践の概要

① 総合的な学習の時間の実施報告

○1年生

- ・自然への探究をテーマにフィールドワークを中心とした調べ学習を行った。今年度はエコパークセンターの協力のもとに、イオンの森調査等を行い、調べたことをまとめた。(SDGs13, 14, 15)
- ・新聞紙でエコバッグを作成し、地元の有機農産物販売所に寄贈した。(SDGs12)



○2年生

- ・人(街)への探究を大きなテーマに、修学旅行先の街との比較を行うことで町作りを考えてきた。(SDGs8, 11)



○3年生

- ・本来は自分への探究をテーマに、職場体験を行った。また、ユニクロの服のチカラプロジェクトに取り組み、支援とは何か考えた。(SDGs12, 17)【写真3】
- ・綾町子ども議会へ出席し、よりよい町づくりのための提案を綾町職員に向けて発表した。(SDGs8, 11)



② 生徒会活動について

生徒会スローガン「Vision～新たな視点で開く持続可能な世界～」の達成に向けて、実施している活動の報告

- ・生徒総会の SDGs 達成を議題とした話し合い(SDGs17)
- ・各委員会と SDGs とのつながりを持たせた活動
- ・ペットボトルキャップ回収(SDGs3, 12)
- ・コンタクトレンズ空ケース回収(SDGs12)
- ・ゴーヤプロジェクト (SDGs13)
- ・ジェンダー講演会、制服見直し (SDGs)



3. 流れ（指導計画の概略）

近年、5月の生徒総会で決まったことに取り組んでいる。今年度は、ゴーヤプロジェクトやジェンダーに関する取り組みが決まり、6月から取りかかった。また、昨年度、決まった案なども年間を通して継続的に取り組んでいる。

4. 効果・反応・所感

近年、SDG s をテーマに掲げ取り組んできたこともあり、生徒一人ひとりの意識に向上がみられた。今後も生徒会を中心に自分たちに出来ることをしっかり行い、綾中学校から地域に発信していきたいという考えがある。これまでの活動の質が衰えることなく、その時々で求められることを考え、取り組みを実行していきたい。その中で、地域や様々な方とのつながりを大切にしていきたい。

5. 指導方法・体制の工夫（協力者や資源）

- ① 綾町エコパークセンターによる指導・協力
- ② 綾町の各事業所の指導・協力